

様式 6

令和 6 年度事業報告書

公の施設名称	岡崎市ふれあいデイサービスセンター
施設の設置目的・役割	家に閉じこもりがちな高齢者の自立生活の助長と介護予防を図る
施設の所在地	岡崎市榎山町字仲村 10 番地 1
施設規模	敷地面積：835.25 m ² 建物面積： 90.77 m ² （管理床面積）
指定管理者	名 称：社会福祉法人岡崎市社会福祉協議会 所在地：岡崎市美合町字五本松 68 番地 12 代表者：太田 俊昭
指定期間	令和 3 年 4 月 1 日から令和 8 年 3 月 31 日まで（5 年間）

1 事業の実施状況並びに施設の利用状況

(1)実施状況

岡崎市ふれあいデイサービスセンター：定員 10 名

	年間実績	月平均	利用率
開所日数	243 日	20.2 日	
登録者数	605 人	50.4 人	
利用者数	1,633 人	136.0 人	67.2%

利用率は定員に対する率、小数点第 2 位以下切り捨て

(2)事業実施に対する自己評価

1 日当たりの利用率は 67.2%（平均 6.7 人/日）となり前期と比較し、約 4.5%ほどの稼働率の減少が見られた。これまで介護認定を受けずにふれあいデイサービス利用継続を希望する利用者が多く見られたが、認定調査を受け介護 2 となる利用者もいたことから、介護保険を学び、正しく認識し活用できるように勉強の機会や周知活動をした。

今後も、福祉総合窓口（ふくまど）や額田地域包括支援センターとの情報共有など、旧額田地区に暮らす介護予防が必要な高齢者の掘り起こしに努め、事業の適切な運営に取り組んでいく。

また、今期で終了となるふれあいデイサービスの利用者が安心して地域で実施する介護予防サービス事業に移行できるよう支援していく。

2 収支状況

(1)収支状況

	項 目	内 訳	決算額(円)
収 入	指定管理料		9,617,200
	利用料金収入		444,600
	その他収入	前期末繰越金	3,862,514
収 入 計			13,924,314

	項 目	内 訳	決算額(円)
支 出	直接管理運営費	直接人件費、光熱水費、消耗印刷費、修繕費、清掃等委託料、保険料等	10,804,828
	(うち修繕費)	※精算項目	35,200
	その他	本部経費、租税公課、当期剰余金等	3,084,286
支 出 計			13,924,314
差 引			0

(2)収入状況に対する自己評価

新型コロナウイルス感染症の5類移行、昨年は利用を見合わせる事が減少し利用人数とともに利用料収入が増加したが、今年度介護保険に移行していく方が増加し利用者人数と共に利用料収入も減少した。認定調査後で介護が出る方も複数いた。

3 利用者アンケート結果

(1)実施概要

実施期間	回答者数	アンケート実施方法
令和7年1月6日(月) ↓ 令和7年2月22日(木)	47/50名	利用者全員に対し、無記名方式によるアンケート

(2)アンケート結果概要（括弧内は回答数）

ア. ふれあいデイサービス（以降「デイ」）を利用する理由

友人・知人に会える(39)、レクリエーションが楽しい(43)、食事がとれる(32)、皆との会話が楽しい(44)、家族や福祉の人が行くことをすすめる(18)、外出先が他にない(20)、デイに行くとやることがある(28)、そ

の他：細かな作業・折り紙など、新しい空気にふれあえる、ボケないため、胸がはれる など(4)

イ. サービス内容はいかがですか

良い(40)、ふつう(6)、良くない(0)

ウ. レクリエーションでやってみたいことはありますか

はい (20)、いいえ (15)

みんなでゲームを考える、クイズなど、簡単な手芸、絵手紙、折り紙、身体を動かすこと、軽い運動

エ. 職員の接し方はいかがですか

良い(46)、ふつう(1)、よくない (0)

オ. 職員に困り事や心配ごとが話やすいですか

良い、(39)、ふつう (8)、よくない (0)

カ. 備品の状態はいかがですか

良い(33)、ふつう (11)、良くない(3)

キ. 施設内の清掃状況はどう感じられますか

清潔になっていると思う (39)、ふつう (7)、汚れが目立っている (1)

ク. 改善してほしい点がありますか

利用回数 (20)【回数を増やしてほしい、週2回、週1回、月5回】、レクリエーション (6)【頭の体操、身体を動かすこと】、食事 (2)【とても良い】、送迎バス (1)【楽しい】、室内環境 (0)、その他 (0)

ケ. 利用して自分の生活に役立っていることはありますか

ある (35)、感じてない (1)、特にない (7)

コ. 当サービスは、お知り合いに誘ってみたいと思いますか

誘ってみたい (21)、本人に興味があれば誘ってみたい (17)、特に思わない (8)

サ. 利用についてやその他ご意見がありますか

1か月に1度で良いからおやつを出してほしいです、友達と話す時間が多く感じます。もっと体を動かす時間がほしい、ナイスデイ(健康器具)を入れてください、いつもありがたい。休まず参加したい、菓子がほしい、食事の時にソースがほしい、コーヒーにせんべいがほしい、楽しいです、いろいろな作品を作りたいです、たたみが古い

(3)アンケート結果に対する自己評価

利用理由の上位に、みんなとの会話が楽しい、レクリエーションが楽しい、友人・知人に会える、食事がとれるなどが挙げられており、高齢者の社会参加の機会及び、介護予防となる健康維持に寄与できていると考える。また、

改善してほしい点としての【利用回数を増やしてほしい】との回答や、利用して自分の生活に役立っている事が“ある”との回答の多さから必要とされ、利用者の生きがいにもつながっていると思われる。

職員のあいさつ・言葉づかいについても多くのかたは良い印象をもっていただいております、こうした評価を維持できるように努力を進めるとともに、備品の状態など良くない意見についても、改善し質の向上に努めたい。

4 その他の自己評価

(1) 利用者へのサービスに対する自己評価

令和4年度から開始した買い物支援は、利用者の楽しみや自立を促す事を目的としてきたが、職員の業務負担に軽減を図り今年度で終了し、次年度からはデイサービス終了時に一般の移動販売を活用できる形に移行する。この変更により、利用者がより自由に買い物を楽しみながら、自立した生活を維持できる介護予防につながる支援の充実を図っていきます。

(2) 利用者のニーズ把握に対する自己評価

利用回数を増やして欲しいとの要望は例年あげられているが、利用者の班分けや送迎コース設定の都合上、現在の利用回数の継続を考えている。サービスに菓子などを希望するニーズも見られるが、配食にはゼリーなどの甘味が付いてくる事もあり個人の体調管理などの課題もあるため、当面は現状を維持したい。

(3) 苦情対応等に対する自己評価

社会福祉法人岡崎市社会福祉協議会福祉サービスに関する苦情解決規程に基づき、苦情解決責任者並びに苦情受付担当者を配置している。また苦情解決の社会性や客観性を確保するため第三者委員を配置し、苦情があった場合には適切に対応できる体制を取っている